

平成29年度指定管理者評価結果について(個表)

1. 総括評価(5段階評価)

施設種別	施設名	頁
スポーツ	大分県リバーパーク犬飼	2
	大洲総合運動公園、大分県立総合体育館	3
文化・コンベンション	大分県立総合文化センター、大分県立美術館	4

2. 中間評価(5段階評価)

施設種別	施設名	頁
農林業振興	大分農業文化公園、大分県都市農村交流研修館	5
	大分県林業研修所	6
港湾・公営住宅	別府港北浜ヨットハーバー	6
レクリエーション	ハーモニーパーク	7
社会福祉	大分県社会福祉介護研修センター	8
	大分県母子・父子福祉センター	9
	大分県聴覚障害者センター	10
	大分県身体障害者福祉センター	11

3. 年次評価(所見評価)

施設種別	施設名	頁
スポーツ	大分スポーツ公園、高尾山自然公園	12
	大分県立庄内屋内競技場	13
港湾・公営住宅	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	14
	大分港大在コンテナターミナル	14
	県営住宅等	15
文化・コンベンション	大分県立別府コンベンションセンター	16
レクリエーション	大分県長者原オートキャンプ場、大分県長者原園地	17
	大分県青少年の森、大分県平成森林公園、大分県神角寺展望の丘	18
	大分県マリンカルチャーセンター	18

平成29年度指定管理者評価結果について(個表)

1 総括評価(5段階評価:指定期間最終年度)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携	平等利用 安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見												
スポーツ	大分県リバーパーク犬飼 (H25.4.1～H30.3.31)	土木建築部	豊後大野市	所管課評価	16/20	12/20	12/20	8/10	9/15	9/15	66	C
				部会評価	12/20 ↓	12/20	12/20	6/10 ↓	9/15	9/15	60	C
				<p>【評価】</p> <p>1. 評価期間(H25～H28年度)を平均すると目標指標(多目的施設の年間利用者数:10,500人)は達成(11,935人)しているものの、利用者数は年々減少しており、特に28年度は9,671人と目標を下回っていることから、目標指標等の達成について高い評価とはならない。</p> <p>2. 今年度は芝の状態が以前に比べて改善されていることから、利用者満足度の向上など今後の管理運営に期待できる。</p> <p>3. 収入の増加について具体的な取組がなく、高い評価とはならない。</p> <p>4. 高校やクラブチームユースの利用が中心であれば、現状の芝のレベルが維持できれば利用上問題はないと思われ、芝の質を上げる必要はないと考える。</p> <p>【意見】</p> <p>1. リバーパーク犬飼独自のHPを立ち上げるなど、PRにもっと工夫を凝らす必要がある。</p> <p>2. 市有施設との相互利用や周辺施設の利用も含めたパッケージ商品づくり、関係団体への営業活動を積極的に行うべき。</p> <p>3. 施設の魅力を高めるためには、カヌー協会との連携は欠かせない。意見交換を行うなどコミュニケーションを密にし、市有施設を含めた利活用促進に取り組むべき。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 市有施設を含めた楽しみ方を提案するなど、より施設の魅力を発信できるよう、現在のHPの改善を促す。 また、大分県カヌー協会などの施設利用者の団体を通じて、施設利用者によるブログやSNSでの情報発信を促す取組を実施する。</p> <p>2. カヌー場(県有施設)利用者のキャンプ場(市有施設)への誘導など、相互利用に向けた検討を進めていきたい。また、サッカー場については、市の所有する他のサッカー場と連携したスポーツツーリズムの推進などの検討を進めていきたい。</p> <p>3. カヌー協会との意見交換(H29.9)を踏まえ、施設運営のレベルの向上を図るとともに、市施設の改修案の検討に際して参考にするなどして、市有施設の利活用促進につなげていきたい。</p>								

1 総括評価(5段階評価:指定期間最終年度)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携	平等利用 安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見												
スポーツ	大洲総合運動公園 大分県立体育館 (H25.4.1～H30.3.31)	土木建築部 教育庁	ファビルス・プランニング大分共同事業体	所管課評価	20/20	12/20	16/20	8/10	12/15	12/15	80	B
				部会評価	20/20	16/20	16/20	8/10	12/15	12/15	84	B
				【評価】	<p>1. 毎年、サービス向上に向けた新たな取組を実施しており、これが利用者増(H27:479,859人 H28:482,106人)に繋がっていると思われ評価できる。</p> <p>2. 利用者の満足度について所管課評価の評価が低い(12/20)要因は、主に弓道場利用者からの苦情があることによるものであるが、指定管理者ができる対応は十分に行っていると思われる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 利用者からの要望で解決に至っていない弓道場の砂塵対策や第二駐車場への案内板設置などについては、県と指定管理者のいずれが対応すべきかなども含め、県と対応策を検討していただきたい。</p> <p>2. 施設のキャパシティには限りがある中で、利用者数が増加傾向にある。過度の利用状況についての不満がないかなど、利用者の声をきめ細かに拾って、運営に活かしていただきたい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 弓道場の砂塵対策については、現在、指定管理者による散水で対応している。また、第二駐車場の利用については、指定管理者がイベント主催者に対して施設利用者を円滑に誘導するよう指導しており、施設の利用に支障が生じることのないよう努めている。指定管理者の対応のみでは解決に至らない課題については、県が指定管理者と協議の上、効果的な対策を検討していく。</p> <p>2. 施設利用者は増加傾向であるが、利用に支障が生じるような状態ではなく、施設利用者へのアンケート調査においても利用状況についての大きな不満は寄せられていない。今後とも一層の利便性の向上や快適な施設利用の確保を目指し、新たにホームページにアンケート用紙を掲載して公園利用に関する意見を募集するなど利用者の要望等の把握に努め、さらなるサービスの充実や利活用の促進を図っていきたい。</p>							


1 総括評価(5段階評価:指定期間最終年度)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携	平等利用 安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見												
文化・コン ベンション	大分県立総合文化センター 大分県立美術館 (H25.10.1～H30.3.31)	企画振興部	(公財)大分県芸 術文化スポーツ 振興財団	所管課評価	16 / 20	20 / 20	16 / 20	8 / 10	12 / 15	15 / 15	87	B
				部会評価	16 / 20	16 / 20	16 / 20	8 / 10	12 / 15	15 / 15	83	B
<p>【評価】</p> <p>1. 利用者満足度の評価の高さは、立地条件や施設に対する高評価によるものであり、職員の対応や手続き、サービスなどソフト面については、アンケート結果を詳細に分析したうえで、改善する余地があると思われる。</p> <p>2. OASISひろば2 1全体の総合消防訓練とは別に、県立総合文化センターや美術館でも訓練を行うなど、危機管理意識が高い管理運営が行われていることは評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 美術館において、解説を聞きながら鑑賞したいというニーズは高いと思われる。建物や所蔵美術品の解説ができるボランティアの育成を進めるとともに、音声ガイドシステムの内容の充実や利活用促進も図っていただきたい。</p> <p>2. 子どもや障がいのある方などを想定した展示の工夫を行うとともに、解説板や配布物のルビ振りを拡大するなど、社会的弱者に対する対応も検討していただきたい。また、視覚障がい者等が手に触れて感じる事ができる企画も検討していただきたい。</p> <p>3. アンケート分析に当たっては、分析ソフトを導入するなど、効率的かつ詳細な分析を行い、改善に繋がるように取り組むべきである。</p> <p>4. 美術館の1階のアトリウム等について、民間の展示会等での利活用を検討してはどうか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 学芸員による展示解説の回数を増やしており、ボランティアによる館内ガイドツアーも週2日行っている。建物や所蔵美術品の解説ができるボランティアの育成を進めるとともに、音声ガイドシステムの内容充実や利活用促進についても検討していきたい。</p> <p>2. 子どもや障がいのある方など社会的弱者に対する対応や、視覚障がい者等が手に触れて感じる事ができる企画を今後検討していきたい。</p> <p>3. 今年度から展示室出口付近でアンケートを行い、1度の企画展に100～200のアンケートが集まるようになった。さらに、回収したアンケートについては各項目毎にグラフ等で分析を行っており、その結果を美術館内の会議で共有し、今後の企画展開催にあたり参考データとして活用している。アンケート数は職員で対応できる範囲であるため、経費面も考慮すると分析ソフトの導入は今後の検討材料としながら、より詳細かつ業務改善に繋がるようアンケートの活用に取り組んでいきたい。</p> <p>4. 美術館アトリウムに関しては、これまでも民間主催の音楽コンサートや展示会を多数開催するなど、開館初年度と比較しても積極的な貸出に取り組んでいる。今後も、展示室の利用者や状況を見ながら、引き続き積極的に貸出を行っていきたい。</p>												

2 中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携	平等利用 安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見												
農林業 振興	大分農業文化公園 大分県都市農村交流研修館 (H28.4.1～H33.3.31)	農林水産部	(公社)大分県農 業農村振興公社	所管課評価	12/20	16/20	12/20	6/10	16/20	8/10	70	C
				部会評価	12/20	16/20	12/20	6/10	16/20	8/10	70	C
				<p>【評価】 1. イベントの充実を図るなど積極的な取組については評価できるが、具体的な数値に基づく費用対効果の分析などの検証が甘い。</p> <p>【意見】 1. 来場者数や収入・支出額の推移、物販の状況など、具体的に数値を分析し、各種の取組を客観的に評価・検証すべき。 2. HP上でクーポンを配布するなど、WebやSNSを使った広告を積極的に行うことにより、物産館への来客者を開拓していくべき。 3. レジ通過カウンターや個別の赤外線センサーを設けるなど、物産館の利用状況を的確に把握すべき。</p> <p>【対応案】 1. 昨年度は、イベントの企画、情報発信手法、接客について、外部の専門家による検証を行った。引き続き指定管理者自らが数値の分析を行うとともに、物販部門の利用拡大についても、12月までに外部の専門家に問題点の把握ならびに改善策の提示を受け、年度内に改善し、効果等の検証を実施する。 2. 昨年度リニューアルしたHP、Facebookに加え、動画サイト、メルマガを、年度内に新たに実施することにより情報発信を強化する。物産館の利用拡大については、屋内遊び場の充実など魅力アップに努めるとともに、Webクーポンについても、年度内に特典内容等を決定する。 3. 物産館の利用状況の把握に向け、POSレジを有効活用すると共に、新たに入館者カウンターを9月に整備した。</p>								

2 中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携	平等利用 安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見												
農林業 振興	大分県林業研修所 (H28.4.1~H33.3.31)	農林水産部	(公財)森林ネット おおいた	所管課評価	18 / 30	16 / 20	12 / 15	3 / 5	12 / 15	12 / 15	73	C
				部会評価	24 / 30 	16 / 20	12 / 15	3 / 5	12 / 15	12 / 15	79	C
				<p>【評価】</p> <p>1. 目標指標(利用者数:3,500人)については、未達成(実績:3,486人)であるが、達成度は99.6%と高く、また国の給付金事業を活用したおおいた林業アデミー事業を実施するなど、利用者の増加対策も図られており評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 研修所(県)としても、若者の林業への就業の増加に向けたPR活動を積極的に行っていくべきではないか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 東京都・大阪府で毎年11月~2月にかけて開催されている森林の仕事ガイダンス(全国森林組合連合会主催)など、県内外で実施される各種就職相談会において、おおいた林業アカデミーの募集活動等を実施し、若者の林業への就業の増加に向けたPR活動を積極的に行っていく。</p>								
港湾・公 営住宅	別府港北浜ヨットハーバー (H28.4.1~H33.3.31)	土木建築部	(株)ササキコーポ レーション	所管課評価	20 / 20	16 / 20	16 / 20	8 / 10	9 / 15	6 / 15	75	C
				部会評価	20 / 20	16 / 20	16 / 20	8 / 10	9 / 15	6 / 15	75	C
				<p>【評価】</p> <p>1. 係船率は大幅に向上しており評価できる。(H27:59.7% H28:68.9% 目標:57%)</p> <p>2. 指定管理初年度(28年度)の未実施事項(安全管理研修や防災訓練など)については、今年度改善が図られる見込みであり、係船率向上策も含め今後も良好な管理運営が期待できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. Wi-fiの設置など、利用者からの声(要望)で反映可能なものについては県と対応を検討していただきたい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. Wi-fiの設置についてはより多くの利用者のニーズを調査し、需要が高ければ設置したい。またその他反映可能な利用者の声(要望)についても実現できるように努めたい。</p>								

2 中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク		
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携	平等利用 安全・危機管理				
評価結果及び指定管理者評価部会の意見														
レクリエーション	ハーモニーパーク (H28.4.1～H33.3.31)	土木建築部	(株)サンリオエンターテイメント	所管課評価	16 / 20	16 / 20	12 / 20	6 / 10	12 / 15	12 / 15	74	C		
				部会評価	16 / 20	16 / 20	12 / 20	8 / 10 ↗	12 / 15	12 / 15	76 ↗	C		
				【評価】	1. 新たなイベントを開催するなど、駐車場収入の増加に向けた取組は評価できる。									
				【意見】	1. 竹林・山林エリアは、県としての利活用の目的や方向性を示したうえで、県とともに利活用策の検討を進めていただきたい。									
				【対応案】	1. 竹林・山林エリアでは指定管理者が竹を使った県民参加型の自然体験活動事業を行い、県民が気軽に自然とふれあえる機会を提供している。このような機会を今後も継続・発展させていくとともに、同エリアの効率的な維持管理手法やその他の有効な利活用策について、指定管理者や隣接する竹林・山林エリアを所管する林産振興室などと連携して検討していく。									

2 中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)					合計 得点	評価 ランク	
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携			平等利用 安全・危機管理
評価結果及び指定管理者評価部会の意見												
社会福祉	大分県社会福祉介護研修 センター (H28.4.1～H33.3.31)	福祉保健部	(社福)大分県社 会福祉協議会	所管課評価	16/20	16/20	16/20	-	16/20	16/20	80	B
				部会評価	16/20	16/20	16/20	-	16/20	16/20	80	B
				【評価】 1. ホームページや研修室の改善など、利用者のニーズに沿った取組が進められており評価できる。 【意見】 1. 福祉用具展示場にある介護ロボットの紹介に力を入れているが、施設見学等から導入につながった利用先の声を聞いてPRするなど、更なる普及に繋がる取組を進めるべきだ。 2. 利用者満足度調査は研修参加者だけでなく、相談や展示場見学者など、来所目的ごとにとるべきだ。 3. 生活スタイルが多様化している中で、同じ講座を複数の時間帯設ける(平日と休日開催の併用)など、更なる利用者を増やす取組が必要ではないか。 4. 一般県民向けの情報発信として、ホームページや新聞広告等の他に、関心を持っている人に逐次情報を届けるメールマガジンの活用を検討すべきではないか。 5. 住宅改造モデル展示場の展示物は、事業者と連携し、負担を抑えつつ更新できないか。 【対応案】 1. 介護ロボットの更なる普及に向けて、介護ロボット先進導入施設の事例発表及び施設管理者と現場職員や介護ロボットメーカーが参加するワークショップなどを平成29年10月18日に実施した。 2. 来所相談者、福祉用具展示場見学者等については、利用者満足度調査票を展示場の出入り口に置き、記載を依頼することとしたい。 3. 今後は研修参加者や利用者の要望を聞きながら、必要に応じて同じ講座を複数の時間帯に設定することを検討したい。 4. ホームページや新聞広告等に加えて、メールマガジンの活用方法についても、利用者の要望や費用対効果も含めて今後検討したい。 5. 県建築士事務所協会、県建築住宅センター等の住宅関連の団体と協議を行い検討したい。								

2 中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携	平等利用 安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見												
社会福祉	大分県母子・父子福祉 センター (H28.4.1～H33.3.31)	福祉保健部	(一財)大分県母 子寡婦福祉連合 会	所管課評価	32/40	8/10	6/10	6/10	12/20	6/10	70	C
				部会評価	32/40	8/10	8/10 ↗	8/10 ↗	16/20 ↗	8/10 ↗	80 ↗	B ↗
				<p>【評価】</p> <p>1. 施設は大分県総合社会福祉会館内にあるため、維持管理の多くは大分県社会福祉協議会に委託するといった制約がある中、節電・省エネ対策に積極的に取り組むなどの経費低減努力は評価できる。</p> <p>2. 貸会議室のホームページでの周知など、収入の増に向けた取組や夏期の施設一般開放といった地域連携の取組も評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 母子家庭や父子家庭の方が集える催しを、もう少し多く開催できないか(現状では、年1回のクリスマス会のみ)。また同じ環境にある母子家庭、父子家庭の方同士の情報交換の場を設けることができないか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 現在、大分県母子寡婦福祉連合会は、市町村母子寡婦福祉会が実施している「クリスマス会」や「バス遠足」などの活動を支援しているが、今後も県全体で母子、父子家庭等の方々が交流や情報交換できるイベントなどの開催を検討していきたい。</p>								

2 中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携	平等利用 安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見												
社会福祉	大分県聴覚障害者 センター (H28.4.1～H33.3.31)	福祉保健部	(社福)大分県聴 覚障害者協会	所管課評価	24 / 30	16 / 20	16 / 20	-	15 / 15	15 / 15	86	B
				部会評価	24 / 30	16 / 20	16 / 20	-	15 / 15	12 / 15	83	B
				<p>【評価】</p> <p>1. 来場者への適切な対応に資するコミュニケーション支援研修を受講するなど、設置目的に沿った職員の育成が図られており、適切な管理運営に繋がっていると思われる。</p> <p>2. 施設が海沿いにあることから、津波避難訓練やAED使用研修を適時・的確に実施するなど、安全・危機管理対応を見直していただきたい。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 津波避難訓練については、避難場所となっている大分県総合社会福祉会館の4階まで避難する訓練を行ったうえで、マニュアル等の見直しを行っていただきたい。</p> <p>2. 施設内のスタジオや制作室を活用してeラーニングの教材を作成するなどし、動画配信等をしてはどうか。</p> <p>3. 障がい者への合理的配慮(障がいのある方から何らかの助けを求められた時に、負担になりすぎない範囲で状況に応じて行われる配慮)が必要となる機会が多い金融機関など業種に対し、手話講座等の受講を積極的に呼びかけてはどうか。</p> <p>4. 利用者アンケートを集める努力はされているものの、サンプル数が利用者数と比較すると少ないと思われるので、サンプル数を増やす工夫をお願いしたい(H28:180名/24,975名)。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 大分県社会福祉協議会と協議・調整のうえ、総合社会福祉会館の4階まで避難する訓練を行うとともに、利用者と一緒に避難経路を確認した上で、津波の対応を加えた「安全管理マニュアル」の見直しを行う。</p> <p>2. 現在、ブログ等で配信する動画の撮影等にスタジオを使用している。手話講座等の教材も作成し、配信していく。</p> <p>3. 9月に各金融機関あてに手話講座開催について依頼した。今後もホテルや旅館等にも働きかけていきたい。</p> <p>4. 利用者への呼びかけ、HPやブログ等でのアンケート依頼を行い、より多くの利用者からアンケートを集めたい。また、各種行事の際に積極的にアンケートの協力を求めていく。</p>								

2 中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク	
				所管課評価 部会評価	目標指標の達成等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等との連携	平等利用 安全・危機管理			
社会福祉	大分県身体障害者福祉 センター (H28.4.1～H33.3.31)	福祉保健部	(社福)大分県社 会福祉協議会	評価結果及び指定管理者評価部会の意見									
				所管課評価	25 / 25	20 / 25	12 / 15	4 / 5	12 / 15	15 / 15	88	B	
				部会評価	20 / 25 ↓	20 / 25	12 / 15	4 / 5	12 / 15	12 / 15 ↓	80 ↓	B	
				<p>【評価】</p> <p>1. 目標指標は達成しており評価できるものの、さらなる利用者の増、特に障がい者の利用者の増を期待したい(障がい者利用者数:目標 27,000人、H28年度 27,128人)。</p> <p>2. 館内利用者(特に健常者)も参加した津波避難訓練を実施していることは評価できるが、反対に、健常者が少なく、障がい者が多く利用している状況での避難訓練を実施するなど、危機管理対策には改善の余地があると思われる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 東京パラリンピックの機運を契機に、障がい者の利用を増加させる取組として、ポッチャなど障がい者の参加が容易な新たなスポーツ教室の拡大等について検討すべきではないか。</p> <p>2. 療育訓練室や機能回復訓練室などの名称は、施設の利用実態と合わないところがあることから、利用者のなじみやすい名称への変更するとともに積極的な広報活動をすべきではないか。</p> <p>3. 対外広報の手段として民間を含めた他の施設や団体との連携強化を図り、教室や講座受講者の作品の発表の場を中心市街地などに設けてはどうか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. スポーツ関係の教室については、適宜、メニューの拡大・充実を図っているところである。障がいの有無にかかわらず楽しむことのできるという視点から、スポーツ吹矢、ミニテニス、卓球バレー等の教室を開催しているところであるが、ポッチャを含め、新たなスポーツ教室についても積極的に検討したい。</p> <p>2. 身体障害者福祉センターは、身体障害者福祉法に基づいて設置された施設であり、中でも、機能回復訓練のための設備の設置は省令で義務づけられている。また、療育訓練室は、知的障がい者・児のための訓練施設であり、現在も、ダウン症患者などの利用がなされている。まずは、施設・設備の目的に沿った利用促進に努めながら、施設の有効活用が図られるよう工夫をしていきたい。</p> <p>3. 教室等受講者の作品は、毎年、当センター主催の「ふれあいフェスタ」(11月開催)の「夢物語作品展」において展示し来場者へ紹介を行っている。また例年開催されている「ときめき作品展」(今年度はiichikoアトリウムプラザで開催)に受講者が出展するなど中心市街地でのイベントにも参加している。全国障害者芸術・文化祭の参加も働きかけるなど、関係機関とも連携し、中心市街地での作品の発表の場を設けていきたい。</p>									

3 所見評価:指定期間初年度、3～4年度目(文章による評価)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
スポーツ	大分スポーツ公園 高尾山自然公園 (H26.4.1～H31.3.31)	土木建築部	(株)大宣	<p>【評価】</p> <p>1. 目標指標である利用者数の減少(H27:1,153,427人 H28:1,144,627人)は、大分トリニータのJ3降格により試合数が減る(H27:22試合 H28:15試合)などの理由があることは理解できるが、外的な減要因をカバーする取組を期待したい。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 利用者数が回復しない中で、新たな取組を行ってはどうか。</p> <p>2. テストマッチも含めたラグビーワールドカップの開催は、これまでと異なる目線から利用者の利便性の向上を検討できる良い機会となる。案内板の設置など、施設利用が初めての来場者でも困らない対策を講じる必要がある。</p> <p>3. 高尾山自然公園の展望台の活用については、立木が生い茂り景色が見えないなどといった利用者の意見とともに、公園管理や里山保全の専門家の意見等を踏まえ、管理の方向性を決定するべきだ。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 大銀ドームにおいては、ラグビーワールドカップ大分大会開催を控え、芝生の育成や維持管理を考慮しなければならないため、利活用に一定の制限が必要であるが、今後は、大型商業施設と連携したイベントの開催や2020東京オリンピック・パラリンピックに関するイベントの誘致など、利用者数の増加に向けた新たな取組を検討していく。</p> <p>2. ラグビーワールドカップでは、これまでとは異なる利用者、特に海外からの利用者が多く予想されることから、外国語にも対応した分かりやすい案内板の改善や仮設を含む適切な配置等について、関係部局と連携して実施することで、施設利用が初めての来場者が困らないように対応していく。</p> <p>また、テストマッチで生じた課題にも、指定管理者とイベント主催者の綿密な調整などにより施設利用者が快適に利用できるように対応していく。</p> <p>3. 高尾山自然公園では、貴重な里山の保全が求められており、自然活動の場として利用されている。展望台までの「365歩の階段」が体力づくり等で利用されている現状もあるため、眺望を楽しむ場としてではなく、運動後の休憩場としての役割を果たし、かつ、周辺が野鳥や木々などを気軽に観察できる空間となるような、新たなコンセプトづくりを検討していきたい。</p>

3 所見評価: 指定期間初年度、3～4年度目(文章による評価)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
スポーツ	庄内屋内競技場 (H26.4.1～H31.3.31)	教 育 庁	由布市	<p>【評価】 1. 赤字運営が続いているものの、指定管理者である由布市において、県立由布高校のライフル射撃部の強化等として許容できる範囲に収まっているのであれば、適正な状況であると思われる。</p> <p>【意見】 1. ライフル射撃はオリンピック種目でもあり、今後の盛り上がり期待される中で、県出身選手の活躍とともに、一般の方でも射撃教室で体験できることなど、県としても県民に対する積極的な情報発信が必要である。 2. 県の屋内競技場(ライフル射撃場)と隣接する由布市の総合運動公園施設(野球場、テニスコート等)を含めた情報発信など、利活用促進策を県と由布市が連携して行う必要がある。</p> <p>【対応案】 1. 一般の方を対象とした射撃教室については、ライフル射撃協会の協力を得て実施するとともに、指定管理者の由布市と連携して、県としてもホームページ等活用し情報発信に努めたい。 2. 全天候型の施設であることから、運動公園のテニスコート利用者等に雨天時の代替施設として、隣接した2施設の連携した利活用について、ホームページ等活用し情報発信する。</p>

3 所見評価:指定期間初年度、3～4年度目(文章による評価)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
港湾・公営住宅	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地 (H26.4.1～H31.3.31)	土木建築部	(株)おおいた観光サービス	<p>【評価】</p> <p>1. 3号上屋でのイベント開催回数(71回)は目標(50回)を達成しており評価できるが、「地域の賑わいの創出」といった目的に即したイベント内容となっているか疑問がある。</p> <p>【意見】</p> <p>1. イベントごとの集客数やイベント内容の報告を義務づけているが、地域の賑わいの創出に繋がっているか把握すべき。</p> <p>2. フェリー乗り場(3号上屋)がイベントスペースとして利用できるという情報発信が足りていない。</p> <p>3. 防災訓練結果等を踏まえ、災害発生時の避難経路を見直すなど、マニュアルの改訂を行う必要がある。</p> <p>4. (株)フェリーさんふらわあと避難計画の策定や防災訓練の実施などについて連携を図るべき。</p>
	大在コンテナターミナル (H26.4.1～H31.3.31)		(株)大分国際貿易センター	<p>【評価】</p> <p>1. 28年度のコンテナ取扱量(36,244TEU)については目標(38,000TEU)を下回っているものの、利活用促進に向けた積極的なセールス活動等により、過去3か年を上回る実績を上げており評価できる。 (H25:33,346TEU、H26:33,130TEU、H27:30,938TEU)</p> <p>【意見】</p> <p>1. コンテナ取扱量については、外的要因に左右されることから、副次的指標を「安全に施設の利用を提供した日数」としているが、安全管理のみではなく、目標指標であるTEUの増加につながる活動を指標とすべき。</p>
				<p>【対応案】</p> <p>1. 今後は地域の賑わいの創出に繋がっているかイベントごとの集客数や客の属性などを分析し、利用者数の増加に向けた効果的なイベントを検討していきたい。</p> <p>2. ホームページの充実や営業活動などに力を入れることによって、フェリー乗り場(3号上屋)がイベントスペースとして利用できるという情報発信を強化していきたい。</p> <p>3. 防災訓練結果等を踏まえ、平成29年度10月末までに災害発生時の避難経路を見直すなど、マニュアルの改訂を行いたい。</p> <p>4. 今年度中に(株)フェリーさんふらわあと共同で防災訓練を実施することを検討しており、その他でも連携を図っていきたい。</p>
				<p>【対応案】</p> <p>1. ポートセールス実行委員会と連携し、「企業訪問数」などTEUの増加に向けた取組を指標とすることを検討する。</p>

3 所見評価:指定期間初年度、3～4年度目(文章による評価)(続き)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
港湾・公営住宅	県営住宅等 (H29.4.1～H34.3.31)	土木建築部	大分県住宅供給 公社	<p>【評価】</p> <p>1. 目標指標である現年度収納率については、高いレベルで推移しており評価できるものの、今後は、低下傾向にある入居率の向上にも注力すべき。</p> <p>1. 現年度収納率：H26:99.80% H27:99.86% H28:99.92%</p> <p>2. 入居率：H26:95.00% H27:93.39% H28:90.34%</p> <p>【意見】</p> <p>1. 入居者募集の広告には、部屋の間取りなどの住戸概要だけでなく、周辺環境などの立地条件等、利用者が住宅を選択する際の参考になるような情報も付加すべき。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 今後、入居者募集の際には、周辺環境等立地条件についてもホームページに掲載するよう検討を進めたい。</p> <p>その一方で、住宅のバリアフリー化や世帯向けの改修など県営住宅の魅力向上に向けた取組も着実に実施することによって、入居率の向上に努める。</p>

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
文化・コンベンション	別府コンベンションセンター (H26.4.1～H31.3.31)	企画振興部	ビーコンプラザ共同事業体	<p>【評価】</p> <p>1．指定管理者の営業努力による施設の利用率の向上の取組は評価できるものの、エントランスホールや運動広場(別府公園側)などの施設の有効活用には改善の余地がある。</p> <p>【意見】</p> <p>1．エントランスホールについては、県民や市民の憩いの場としての利用が乏しいように思われる。机や椅子のスペースを設けるなど、可能な範囲で環境整備できないか。</p> <p>2．ツーリズムおおいたの事務室の転居に伴い、施設内に未活用のスペースが生まれている。憩いや賑わいの場となるよう、条件を絞らず、前広に活用を検討していただきたい。</p> <p>3．グローバルタワーの利用促進が必要である。施設開設当初(平成7年)から更新されていない展望デッキの案内板を更新するなど、魅力アップに対する工夫が必要である。また、地元の別府市を拠点として芸術分野などで活動している各種団体と連携できれば有効な取組ができるのではないか。</p> <p>4．運動広場(別府公園側)については、利用状況等を踏まえ、駐車場として整備できないか。</p> <p>5．ホームページで主要な会議室の予約状況を掲載するなど、Webを活用した情報発信を充実させていただきたい。</p> <p>6．経費節減の取組として、催事のない部分の空調を停止するのは良いが、導線となる部分まで停止すると利用者満足度が低下するのではないか。</p> <p>7．アンケート調査項目が少ない。利用者の声が詳細に分析でき、改善に繋がるように設問を見直す必要がある。</p> <p>【対応案】</p> <p>1．これまでも催事に合わせて椅子やテーブルを移動させ、エントランスホールを憩いの場として利用していたが、これからは、原則として常時賑わいの場としての活用を検討する。まずは、本年9月末から家族連れをターゲットとした写真撮影スポット(書き割りボード)を設置する。</p> <p>2．軽飲食スペースなど利用者がくつろげるような活用も含めて指定管理者と検討する。</p> <p>3．案内板の更新や、展望デッキに利用者がSNSなどで写真を公開した時に見栄えの良いパネルの設置等を検討する。また、NPO法人BEPPU PROJECTなどと連携し、アートシーンでの利用促進など滞在時間を延ばす取組を検討する。</p> <p>4．現在、運動広場(別府公園側)は、別府市が所有しており、必要に応じて臨時駐車場として借用している。運動広場(別府公園側)を駐車場として整備することについては、H31年度からの次期指定管理更新時に別府市と検討する。</p> <p>5．主要な会議室の予約状況のホームページ掲載は、システム更新が必要で、更新には多額の費用を要するため、費用対効果を勘案しながら平成31年度からの次期指定管理更新時に要件とすることを検討する。情報発信については、随時、充実に努める。</p> <p>6．利用者目線で導線となる部分はもちろん、それ以外の部分についても臨機応変な室温調整を行い、経費節減との両立を図る。</p> <p>7．利用者の声が詳細に分析できるよう、利用者の負担に考慮しつつ、ホール全館用のアンケートに男女・年代などの調査項目を追加する。</p>

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
レクリエーション	長者原オートキャンプ場 長者原園地 (H26.4.1～H31.3.31)	生活環境部	吉武建設	<p>【評価】</p> <p>1. 熊本地震の影響により、平成28年度の利用者が大きく減少(H27:6,715 H28:5,645)していることは理解できる(九重地域全体の観光客が減少している)。</p> <p>2. 一方で、インターネットや雑誌などの各種広報媒体の活用やアウトドアイベントのブース出展等による積極的な広報活動は高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 魅力的なロケーションにある施設であり、インバウンドへの対応が求められる。特に個人客へのPRや受入のための職員育成、インターネット予約の導入など予約方法の多様化といった改善も必要ではないか。</p> <p>2. 冬期等の閑散期対策として、企業の社員研修の受入れなど、利用方法の拡大検討を行うべきである。</p> <p>3. 平成10年の開設後20年近くを経過しており、施設の魅力アップと地域の活性化を図る観点から、温泉採掘など施設の大幅なりニューアルを検討すべきではないか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 職員の勉強会等を行い、利用客に応じた対応が行えるようにする。インターネット予約の導入については、トラブル回避も含めて閑散期や営業時間外等の導入から検討する。</p> <p>2. 閑散期の施設利用については、通常利用だけでなく企業の社員レクリエーションの場として提案していく。</p> <p>3. 大幅なりニューアルについては、今後の施設のあり方を踏まえ、検討したい。</p>

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
レクリエーション	大分県青少年の森 大分県平成森林公園 大分県神角寺展望の丘 (H26.4.1～H31.3.31)	農林水産部	(公財)森林ネット おおいた	<p>【評価】 1. 少ない人数で広大な面積の施設を効率的に管理できているとともに、効果的な広報により利用者が増加するなど、高く評価できる。</p> <p>【意見】 1. アクセスが難しい立地であるので、施設独自のアクセスマップをホームページに掲載するなど、詳細な情報提供が必要である。 2. 散策コースに生息する動物やサイクリング用にレンタルできる自転車の紹介など、きめ細やかな情報を発信する工夫があれば、更に利用者が増やせるのではないかと。 3. アンケート調査項目が少ない。利用者の声の詳細に分析でき、改善に繋がるように設問を見直す必要がある。</p>
			<p>【対応案】 1. 昨年度、利用者の声を受け、アクセス道の広さ等をわかりやすく記載したアクセスマップを作成し、ホームページの新着情報で紹介した。今後は、「アクセス」ページにも掲載し、利用者が容易に利用できるよう改善する。 2. 今年度、自転車を更新する計画となっていることから、更新後はホームページに掲載する。 3. 調査項目を整理し、利用者増及び改善要望の把握がよりできる設問内容に見直す。</p>	
	大分県マリンカルチャーセンター (H29.4.1～H30.3.3)		(株)プランニング大分	<p>【評価】 1. 県民のレクリエーションと社会教育という2つの目的を持つ施設の管理運営は、利用者の増加に向けた取組などに難しい面があることは理解できる。</p> <p>【意見】 1. 毎年、収支の赤字は大幅に改善しているものの、平成28年度の収支も赤字となっている。 H25: 35,188 H26: 19,609 H27: 4,356、H28: 1,616 繁閑の差が大きい施設であることから、職員の配置を柔軟に運営できれば、黒字運営できる余地があるのではないかと。</p> <p>【対応案】 1. ゴールデンウィークや夏休みなど繁忙期はアルバイトを雇用し、必要な人員を補っている。閑散期となる冬期はパートやアルバイトのシフトを見直し、必要最低限の人員で対応する。</p>